

# きたかん.net 関連活動報告

※きたかんという組織自体の活動ではありませんが、メンバーがコラボして地域の観光やまちづくりに関わった活動の報告です

タイトル	“Niseko Monte Bar”の商品化
関わったきたかんメンバー	脇山 潤(1期) 久保 純一(2期)
きたかん以外の関係者	倶知安農業高校の生徒
活動内容 (経過、成果等)	

- 主に羊蹄山麓で収穫される規格外農作物にもっと商品価値を与えようという想いが発端となり、地元の有志が起業し、農高生と協働で所謂パワーバーを開発しました。
- きたかんメンバーの脇山さんが起業メンバーの一人。
- 開発に当たっては、農高生にセミナー同様のマーケティングメソッドの授業を行い、パッケージや箱をデザインする段では、2期の久保さんにも登場頂き、デザインの授業をしていただいた上でしっかりとそれらメソッドや授業に則って、理路整然と商品化を行ないました。
- ターゲットと想定される顧客層に近いライフスタイルを持つ地域の方にインタビューを行ったり、ニセコで行なわれたサイクリングやウォーキングイベントでは試供品を配りつつアンケートを実施したりと、仮説と検証(=試行錯誤)を繰り返しながらの製作行程でしたが、平成26年1月1日よりニセコのスキー場界隈のお店を中心に販売されています。
- この開発・販売のプロセスを平成26年2月6日に美深町において開催された、日本学校農業クラブ北海道連盟主催の全道実績発表大会で活動事例として報告した倶知安農業高校は最優秀賞を獲得しました。

## 写真

